

第3回鷺沼駅周辺再編整備公共機能検討会議

日 時：平成30年8月17日(金)

政策・調整会議終了後

場 所：第3庁舎18階 大会議室

1 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討状況について

2 その他

(配布資料)

出席者一覧

座席表

資料1 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討状況について(案)

資料2 これまでにいただいた質問・意見に対する市の考え方(案)

資料3 区民意識アンケート実施結果(速報)

今後のスケジュール

【文教委員会】

- ・日程：平成30年8月23日(木)
- ・内容：陳情審査及び所管事務報告

【まちづくり委員会】

- ・日程：平成30年8月23日(木)
- ・内容：所管事務報告

【中間報告まちづくりフォーラム】

- ・日程：平成30年8月26日(日) 13:30から
- ・会場：宮前区役所4階大会議室

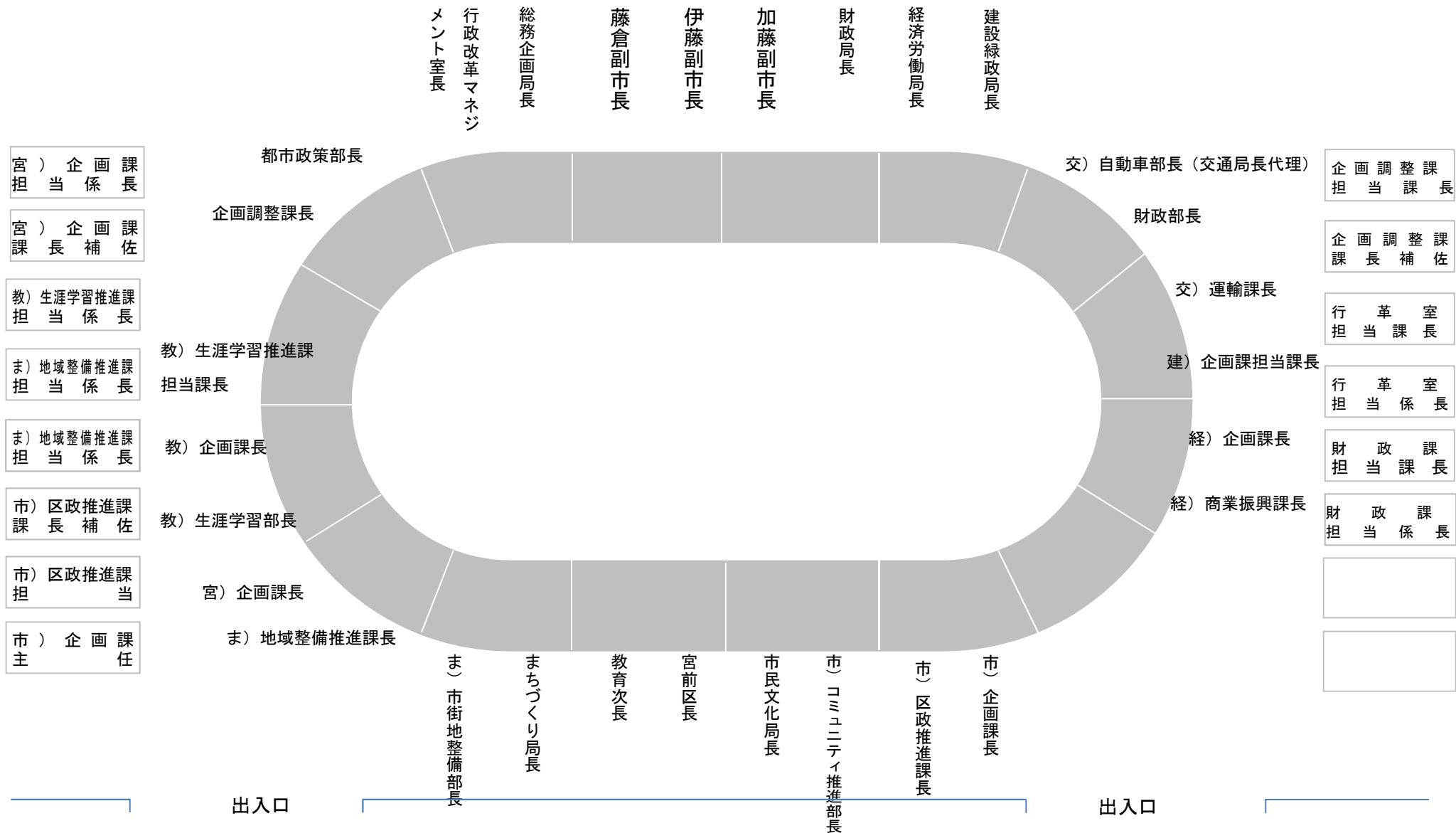
会議出席者一覧

役 職 等	
1	藤倉副市長（座長）
2	伊藤副市長
3	加藤副市長
4	総務企画局長
5	財政局長
6	市民文化局長
7	経済労働局長
8	まちづくり局長
9	建設緑政局長
10	宮前区長
11	交通局長
12	教育次長

第3回鶴沼駅周辺再編整備公共機能検討会議座席表（第3庁舎18階大会議室）

300817

平成30年8月17日（金）11:15-11:45



鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討状況について（案）

資料 1

鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」の1つとして位置づけられ、「鷺沼駅周辺を中心（中略）多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしている。今回の民間事業者による再開発は、この位置付けに即した取組である。

そこで市では、この機会を捉え、宮前区全体の利便性向上に寄与する取組を推進できるよう、平成30年2月に「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討に関する考え方（以下「検討の考え方」という。）」を公表し、関係団体等への説明・ヒアリングやまちづくりフォーラム、意見交換会、アンケート調査など、多角的な区民意見の把握に取り組み、現区役所等用地のあり方なども含め、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する検討を進めている。

また、現在の建物を継続利用した場合と鷺沼駅前に移転した場合の必要概算経費の算出などについては、専門業者への委託による基礎調査を実施するとともに、並行して、公共交通による駅アクセスについて、現状や課題、検討の方向性等について整理を行っている。

このたび、第1回まちづくりフォーラムでの区民意見等を踏まえて追加開催する中間報告フォーラムに合わせ、それぞれの取組について、これまでの検討状況を報告する。

なお、今回の取組では、区役所・市民館・図書館などの移転可能性も含め、鷺沼駅前に望まれる公共機能について検討することから、「宮前区のミライを考えるさぎぬまプロジェクト」という名称を付け、区民への周知を図っている。

1 関係団体等説明・ヒアリング、まちづくりフォーラム、意見交換会

（1）関係団体等説明・ヒアリング

宮前区全町内・自治会連合会や区社会福祉協議会をはじめ、区役所の日常業務等で関わりのある団体等を対象として、2月に公表した「検討の考え方」の周知を図り、その段階での率直な意見・質問を把握した。今後も、検討の進捗状況に応じて実施する。

ア 実施概要

- 期間…平成30年2月14日（水）～3月26日（月）
- 団体…35団体（401人）、1団体あたり40分程度

イ 主な意見・質問

鷺沼駅に近い地区を中心に、移転に前向きな意見や再編整備への期待感がある一方で、向丘地区や現在の区役所周辺の住民からは配慮を求める意見が出るなど、地区により意見に差異が生じている。

【前向きな意見・期待感】

- 現在の区役所は車で行くには便利だが、坂の上にあり大変なので、駅から近いところに移転するのは賛成
- 鷺沼に移転して宮前区全体が明るくなり、宮前・向丘両地区にとって便利さが感じられるようになるとよい
- 分区した宮前区には核がなく、鷺沼に集中させて核にしようという方向には賛成

【配慮を求める意見・質問】

- 向丘地区が極めて不便になるため、向丘出張所の機能の充実や、鷺沼へのバス便の確保が必要
- 駅前周辺道路は現状でも混雑しており、道路整備や駐車場確保が必要
- 区役所と市民館・図書館の移転は分けて考えるなど、一部機能の移転も考えられるのではないか

（2）第1回まちづくりフォーラム

今回の取組の概要や検討の進め方などについて説明し、質疑応答、意見交換を行った。

ア 実施概要

- 日時…平成30年5月27日（日）13:30～16:00
- 会場…JAセレサ川崎本店セレサホール飛翔
- 来場者…約200人



イ 主な意見・質問

- 今日初めて詳細な話を聞いた。情報は開示されているのか
- 鷺沼の再開発自体は結構だが、問題は区役所等の移転の話。資産価値が下落したら補償するのか
- 区役所や市民館・図書館が移転しなければならないという理由があるのか
- 現在の区役所等の建物はバリアフリーの観点から問題がたくさんある。皆さんにこうしたことも知ってほしい
- できれば大人の意見だけではなく、子どもの意見も聞いてほしい
- 再開発によってバス路線がどのようになるかということをきちんと説明するべきではないか
- 1年間という限られた検討期間が問題である。もっとじっくり考えてほしい
- 今日のフォーラムのように市民参加で進めてほしい

（3）意見交換会（ワークショップ）

4回連続のワークショップによる創造的な議論に取り組み、鷺沼駅前に望まれる公共機能をはじめとした検討を深めていく。50人の定員に対して109人の応募があり、地域バランスや年齢、性別を考慮して抽選により参加者を決定した。

ア 参加者の構成

・13歳～87歳の区民に参加していただいている。

(人)

年齢	10～20代	30～40代	50～60代	70代以上	合計
性別	男	女	男	女	男 女
人数	3	3	9	7	9 4
小計	6 (12%)	16 (32%)	13 (26%)	15 (30%)	50

イ 実施概要

【第1回】6月9日（土）13:30～16:30 宮前区役所4階大会議室

・テーマ＜共有する＞…このプロジェクトに関する期待や関心・思い・懸念することなどについて意見を自由に出し合い、共有する。

・参加者全員が意見を出し、共有するため、少人数のグループに分かれてワークショップ形式で意見交換を行った。

【第2回】7月21日（土）13:30～16:45 宮前区役所4階大会議室

・テーマ＜意見を深める①＞…第1回で出された意見を4つのテーマに分けて意見交換し、鷺沼駅周辺や宮前区のミライを探りながら意見を深めていく。

ウ 第2回の4テーマごとの主な意見

①鷺沼駅周辺のまちづくりと公共機能

- ・宮前区のブランドづくり／・自律的に課題を解決できるまちに／・気軽に集まり交流できる場所
- ・駅から近いところに区役所・市民館・図書館を整備してほしい／・ITの活用で行政機能のワンストップ化
- ・子ども子育て機能の充実／・ワーキングスペース・シェアオフィスで昼間人口増／・大・小ホールと練習・リハ室

②交通・アクセス

- ・路線バスネットワークの充実／・バスロータリーの改善・立体的利用／・駅前の信号待ち時間の改善

③宮前区全体のまちづくり

- ・チャンスを活かして鷺沼を核に／・コンパクトシティの考え方が必要／・歩いて行ける身近な場所に拠点を
- ・AI・ITの活用で集わなくて相談できるように／・宮前区の歴史を発信／・跡地は災害時の緊急拠点に
- ・跡地は交流スペースに／・鷺沼に全ての機能を移転する必要はない（一部機能のサテライト化）

④検討の進め方

- ・多様な意見を集めていく（外部委員、専門家、住民代表、子ども）／・行政内部の検討プロセスの公開を
- ・慎重に検討／・分庁舎という選択／・必要なものだけ移転／・事業者のビジョンを聞きたい

* フォーラムの実施結果や意見交換会の資料などは全て市ホームページで公開中

さぎぬまプロジェクト



2 無作為抽出による区民意識アンケート

(1) 実施概要

鷺沼駅前の再開発に伴い、宮前区の今後のまちづくりに向けた区民の率直な意識を統計的に把握することにより、鷺沼駅周辺再編整備に伴う宮前区の今後のまちづくりについての検討の参考とする。

ア 調査対象 宮前区内在住の18歳以上の男女個人2,000人（外国人を含む）

イ 有効回収数 1,057件（52.85%）

ウ 標本抽出方法 住民基本台帳に基づく無作為抽出

エ 調査期間 平成30年6月7日（木）～6月25日（月）

オ 調査方法 郵送法（郵送配布、郵送回収*） *インターネットでの回答も可能とする。

(2) アンケートの構成

今後、民間事業者が進める鷺沼駅前の再開発の概要や市の取組について、回答者がアンケートに回答する前に概要等をつかめるよう、説明を読んでから、各設問に答える構成とした。（全設問数：39問）

ア 回答者への概要説明

①鷺沼駅前の再開発事業について

再開発が民間事業者による実施であること、再開発が予定されている区域、機能配置のイメージ、主なスケジュールなどについて、地図等を用いて説明

②「宮前区のミライを考えるさぎぬまプロジェクト」について

このアンケートも市が進めている本プロジェクトの一環であり、フォーラムや意見交換会などを開催して総合的に検討を進めることや、市の方針決定の時期などを説明

イ 主な設問項目

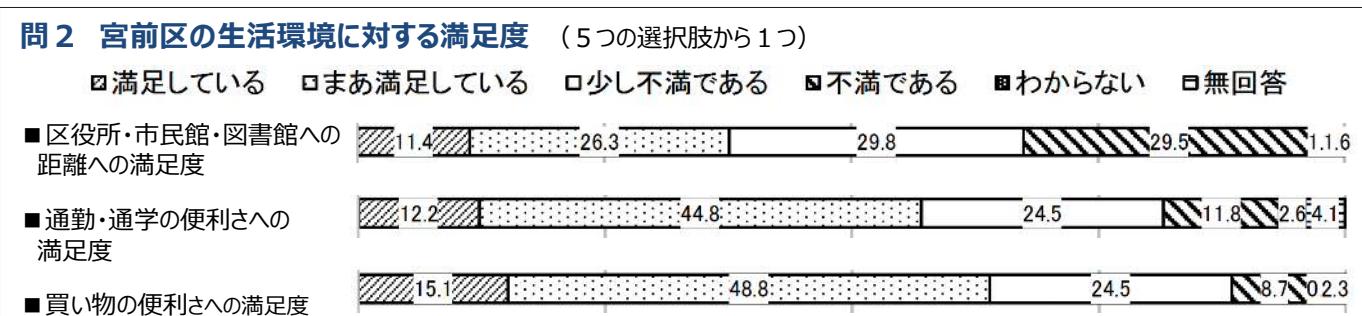
- ①宮前区について日頃感じていること
- ②現在の区役所・市民館・図書館の利用状況等
- ③鷺沼駅前の民間事業者による再開発事業について
- ④区民意見を踏まえた今後の鷺沼駅周辺のまちづくり
- ⑤その他



アンケート（イメージ）

(3) 調査結果

主な設問に対する回答は、次のとおりとなっている。（抜粋）



問6 宮前平にある公共施設(宮前区役所・市民館・図書館)に行く目的について

（あてはまるものを3つまで）

- [上位項目]
- ・住民票や印鑑登録証明書などの証明書を発行するとき…73.4%
 - ・転入・転出や戸籍・印鑑登録などの手続きをするとき…63.0%
 - ・各種イベントやコンサート、発表会などに行くとき…30.5%
 - ・本や雑誌を読んだり、借りたりしたいとき…27.4%
 - ・子どもに関する各種手続き等の行政サービスを受けるとき…22.7%
 - ・ほとんど利用していない…14.2%

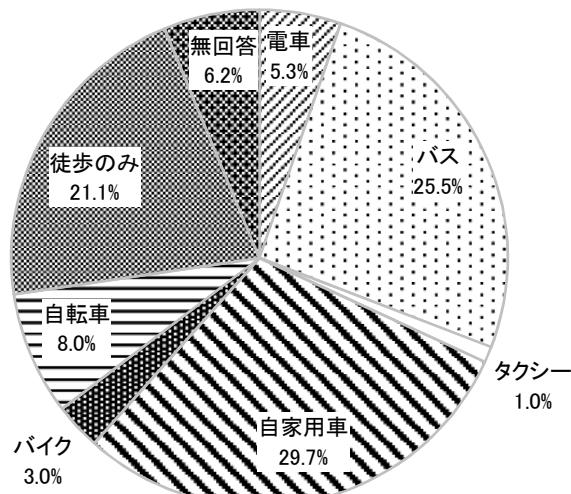
問7 宮前平にある公共施設を「ほとんど利用していない」理由

（あてはまるものを3つまで）

- [上位項目] 回答者数：149
- ・利用するには行きにくい場所にあるから…55.3%
 - ・行政サービスコーナーやコンビニでの証明書発行など、宮前平の公共施設に行かなくても用事が済んだから…23.3%
 - ・手続きや会議等で行く必要がなかったから…20.7%
 - ・利用する時間的な余裕がないから…20.7%

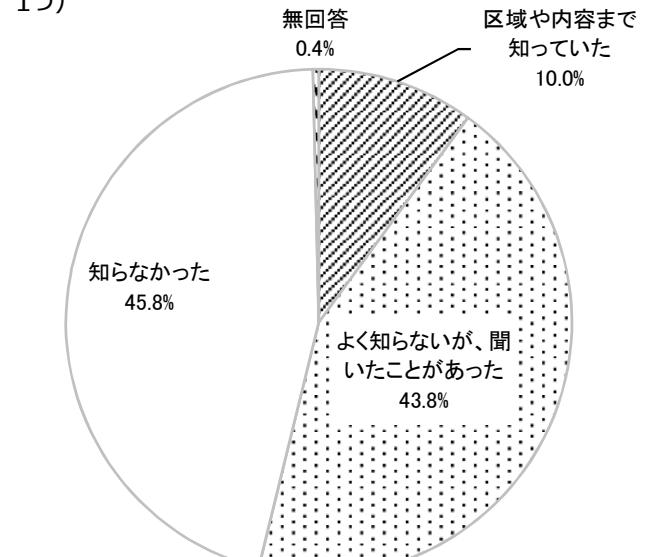
問8 宮前平にある公共施設(宮前区役所・市民館・図書館)に行くときの主な交通手段

（最もあてはまるもの1つ）



問9 鶴沼駅前で民間事業者による再開発計画が検討されていることの認知度

（最もあてはまるもの1つ）



問10 鶴沼駅前の再開発への期待について、これまでに寄せられた意見に対し、どう思うか

（あてはまるものすべて）

- ・区内のどの地域に住む人にとっても交通の便利さが感じられるようになるといい…55.3%
- ・買い物が便利なまちになってほしい…48.2%
- ・駅前に行政、金融、オフィス、ショッピング、高齢者の住むマンション、子育て関係の施設などが集まる完結型のまちが望ましい…45.5%
- ・利用者目線のバリアフリーなど誰もが住みやすいまちづくりを進めてほしい…36.8%
- ・鶴沼駅前を文化的な拠点にしたい…20.1%
- ・その他…7.4%
- ・特にない…16.4%

問11 鶴沼駅前の再開発への期待に対し、「特にない」と回答した理由

（最もあてはまるもの1つ）回答者数：164

- ・鶴沼駅周辺にはあまり行かないから…47.4%
- ・自分にとって便利にならないから…32.9%
- ・今後のまちづくりについてよくわからないから…8.1%
- ・関心がないから…1.7%
- ・その他…4.6%

問12 鶴沼駅前にあってほしい市民サービスや公共的な機能について

（あてはまるものすべて）

- ・住民票や印鑑登録証明書などの発行…49.4%
- ・転入・転出や戸籍・印鑑登録などの手続き…43.7%
- ・高齢者や障がい者への福祉サービス…34.3%
- ・保険・福祉などに関する各種手続き・相談…33.9%
- ・読書・調べもの、本を借りること…31.2%
- ・子どもや子育てへの支援…25.3%
- ・音楽などイベント、講座、講演会などの開催・参加…25.3%
- ・多様な世代やライフスタイルの人たちの交流…19.6%
- ・地域の活動やサークル活動への支援…13.3%
- ・その他…4.3%
- ・特にない…21.7%

問13 鶴沼駅前にあってほしい空間について、これまでに寄せられた意見に対し、どう思うか

（あてはまるものを3つまで）

- ・緑を感じることができる空間…49.0%
- ・自由に飲食や休憩ができる空間…40.2%
- ・災害発生時の避難場所としても使える空間…36.0%
- ・高齢者や障がい者も安全・安心に利用できる空間…34.4%
- ・待ち合わせや談話ができる空間…28.2%
- ・子どもを遊ばせることができる空間…21.3%
- ・農産物や作品販売などのバザーができる空間…20.2%
- ・お祭りやイベントができる空間…20.1%
- ・その他…4.7%

問14 今後、鶴沼駅周辺のまちづくりを進めていくうえで考慮してほしいこととして、これまでに寄せられた意見に対し、どう思うか

（あてはまるものを3つまで）

- ・鶴沼駅周辺の駐車・駐輪スペースの整備など、交通環境に配慮すること…60.2%
- ・区内各所から鶴沼駅に行きやすくすること…45.6%
- ・仮に区役所・市民館・図書館を移転するなら、現在の区役所・市民館・図書館用地の活用方法を検討すること…35.1%
- ・将来の人口や生活環境、情報通信技術等の状況変化を見据えて検討すること…32.5%
- ・市としての方針案を決める前に、市民の意見を聞く機会を十分設けること…28.0%
- ・区役所・市民館・図書館を移転する場合としない場合の費用対効果を検討すること…25.0%
- ・向丘出張所の機能について検討すること…9.4%
- ・その他…3.5%

3 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能検討のための基礎調査

(1) 目的

供用開始後30数年が経過している宮前区役所及び市民館・図書館の鷺沼駅周辺への移転可能性を検討するため、建物の現状確認や必要規模の検討など、検討に必要な調査を行うことを目的とする。

(2) 調査内容

現在の建物の劣化状況を調査し、長寿命化した場合と鷺沼駅周辺再編整備に伴い移転することとした場合の事業の効率性の比較検討を行うとともに、他都市の類似事例を調査し、移転することとした場合の効果的な機能・空間構成について検討する。今回は、以下の調査項目のうち「ア 既存建物調査」の作業状況を報告する。

ア 既存建物調査

- ①過去に実施した劣化調査・診断報告書や保守点検報告書、施設管理者へのヒアリング、目視により、建物・設備の劣化状況を調査する（「学校施設の長寿命化の手引き」（文部科学省）等による）。
- ※今回の調査では、構造躯体の健全度を診断するコンクリート強度、中性化試験等は行わない。
- ②建物を資産マネジメントカルテに基づき築60年まで使用するための修繕内容を確認し、長寿命化整備方針を検討する。
- ③下記⑤比較検討のため、修繕、建替え等にかかる概算費用を算出する（長寿命化「平成17年度版建築物のライフサイクルコスト」（国土交通省）等による）。
- ④長寿命化により建物を活用した場合に考えられる課題を整理する。
- ⑤長寿命化のち現地建替えの場合と、鷺沼駅周辺再編整備に伴い移転することとした場合の事業効率性の比較検討を行う。

イ 事例調査

庁舎、市民館、図書館、その他類似する公共施設の再整備の際に、新たな機能・用途・空間を付加または従来の機能を削除した他都市の事例を調査し、必要に応じてヒアリングを行い、特徴をまとめる。

ウ 機能・空間構成の検討

イの事例調査結果及び意見交換会やまちづくりフォーラムでの意見、区民アンケート結果等を参考に、再開発が進む鷺沼駅周辺エリアの立地ならではの効果的な機能・空間構成について検討する。

(3) 既存建物調査の作業状況

【健全度評価】(2)ア① (実施済み)

- ・長寿命化を図る部位を、屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備の5つに分類し、さらに詳細な部位ごとに劣化状況を調査した。詳細部位の劣化状況を総合的に評価し、5つの部位ごとに、健全度をA～Dの4段階で示している。

部位（大分類）	区役所	市民館・図書館	健全度説明
屋上・屋根	C	D	A: 概ね良好 B: 部分的に劣化 C: 広範囲に劣化 D: 早急に対応する必要がある
外壁	C	C	
内部仕上げ	C	C	
電気設備	C	D	※C, Dは修繕、改修が必要
機械設備	C	C	

- ・また、詳細部位については、「早急（概ね5年以内）に修繕が必要」とされた箇所が区役所、市民館・図書館ともに散見されたが、「緊急（概ね2年以内）に修繕が必要」とされた箇所は、市民館・図書館のみにあった（外壁・内部仕上げの一部箇所）。

【長寿命化方針の検討・概算費用の算出】(2)ア②③ (検討・作業中)

- ・劣化調査をもとに、建物を築60年まで使用するとした場合に必要な詳細部位修繕、大規模修繕の、年度ごとの仮修繕計画について検討中である。
- ・今後、仮修繕計画を基に、費用の算出を行う。

【課題の整理・事業効率性の比較】(2)ア④⑤ (検討・作業中)

- ・次のa、bについて課題を整理し、事業効率性の比較に向けて作業中である。
 - a 長寿命化（築60年まで）し、現地で建て替える場合
 - b 鷺沼駅周辺再編整備に伴い移転する場合
- ・コスト算出をするまでの様々な算定条件を整理し、比較検討に必要な情報を抽出する。その結果を踏まえ、他の調査結果も含めた比較検討を行なう。

		a 長寿命化し、現地で建て替える場合（現位置）	b 鷺沼駅周辺再編整備に伴い移転する場合（鷺沼駅周辺）
立地条件	位置	・区域のほぼ中心	・区域のやや南寄り
	区内からのアクセス（公共交通）	・各駅停車の停車駅から徒歩10分（坂道） ・区役所にアクセスするバスは、平日約240本／日（約140本／日）（カッコ内は宮前平駅発の内数）	・急行の停車駅から至近 ・駅にアクセスするバスは、平日約550本／日 ・バスバースの増加により、路線バスネットワークの充実が図られる。
	地形、災害想定	・丘陵地 ・液状化対象外、浸水可能性なし、土砂災害危険区域外	同左
	周辺の土地利用（公共施設・商業・業務等）	・消防署、警察署が隣接	・金融機関等、商業施設が集積
コスト※条件設定により変動	現施設の仮修繕計画に基づく修繕費	・算定のための条件整理中 ※各施設築60年までの仮修繕計画を立案の上、算出する。	・算定のための条件整理中 ※移転時期について調整し、移転までの仮修繕計画を立案の上、算出する。
	新施設の想定整備費 ※現施設と同面積とし、解体費は除く	・約110～120億円（条件等精査中） ※区役所の仮設庁舎への移転を想定した経費（用地、建物、移転費用）を含む。	・約125～135億円（条件等精査中） ※他事例を参考とした現時点の想定費用 ※市街地再開発事業に伴う市民館・図書館の床取得費に国庫補助金控除後の費用を記載
	新施設の想定修繕費	・算定のための条件整理中 ※新施設の修繕内容や算定期間等を想定し、算出する。	・算定のための条件整理中 ※新施設の修繕内容や算定期間等を想定し、算出する。
維持管理・運営	その他	—	・現区役所（第2駐車場含む）、市民館・図書館用地（約11,000m ² ）の資産活用が可能である。 ・期間を空けることなく再開発ビルに必要機能・床面積を確保することが可能である。
	建物整備時の機能・サービス	・通常の整備方法では少なくとも区役所の仮移転が必要となり、その位置や建物構造などによっては、一定期間区民の利用に支障が出ることが考えられる。	・他の施設と合築になるため、管理組合の一員として建物を適切に維持していく必要があり、自由度は低い。
	施設の維持管理	・市の方針に基づく維持保全が可能である。	・他の施設と合築になるため、一定の制約はあるものの、区民意見を踏まえ、設計上の工夫により、使い勝手や機能の向上に向けた建物整備が可能である。 ・バリアフリー対応、ユニバーサルデザインが可能である。
利用のしやすさ、使い勝手		・大規模修繕を行っても建物の造りを大幅に変更することはできず、当面（少なくとも約25年間）は、現在の建物を継続利用する。 ・敷地に高低差があり、バリアフリー対応に課題がある。	

4 鶯沼駅周辺再編整備に向けた公共交通による駅アクセスに関する取組 ①

(1) 宮前区内の路線バスの現状

- ・宮前区は、起伏に富んだ地形であるため、特に、鉄道から離れた地域でバス利用が多い。
- ・基盤整備状況等により接続する鉄道駅が異なり、通勤・通学利用の朝・夕時間帯を中心に、野川柿生線沿線は溝の口駅、尻手黒川線沿線は宮前平駅、東側は鶯沼駅への接続となっており、駅への接続路線は、時間当たりの路線本数も多い。
- ・また、小田急線沿線へのアクセスは、宮前平駅からは見られるが、鶯沼駅からは見られない。



(2) 鶯沼駅発の交通アクセスの現状と課題

- ・山坂が多く、路線バスによる駅へのアクセスが多い地域であるものの、バスバースが4バースしか配置されていないことなど、交通広場の機能不足などにより、バス需要に応える増便等の対応が難しいなどの課題がある。
(川崎市内の主要駅における1バース当たりのバス便数は最大(総数: 545本、1バース当たり: 約136本)となっており、待機場や降車スペースがない)
- ・また、交通広場内で、バス・タクシー・一般車が、混在している。
- ・交通広場の出入口周辺の近傍箇所に3つの信号があるため、交通処理能力が低下している。
- ・駅周辺に付加車線（右左折レーン）が整備されておらず、右左折車両の混入による通過交通の阻害により、交通混雑が発生している。
- ・交通広場は、「都市の広場」としての役割を担っているが、憩える場所や待合スペースなどが交流機能が不足している。



のりば	系統	行先	本数	のりば	系統	行先	本数
①	梶01	梶ヶ谷駅	137本 (15本/時)	③	鶯02	小杉駅・久末、新城駅、井田営業所	145本 (12本/時)
					鶯02	小杉駅前、新城駅前	
②	鶯11	宮崎台駅	114本 (7本/時)	④	鶯01	東山田営業所	149本 (11本/時)
		グリーンハイツ中央			鶯03,04	センター北駅、センター南駅	

(3) 取組の方向性

- ・【駅周辺交通環境】
民間活力を活かした市街地再開発事業と併せた交通広場の再整備によるバスバース数の増加などの交通広場の拡充や通過交通等に配慮した交通流の改善を図る。
- ・【路線バスネットワーク】
拡充されるバスバース等を活用し、既存路線の再編や新規路線の設置等について、バス事業者と連携し、路線バスネットワークの充実に向けた検討を進める。

(4) 具体的な取組

(4-1) 駅周辺交通環境

○施策① 交通広場の拡充

- ・現行の交通広場を運用しながら整備が可能となる位置に、約2倍の交通広場の配置を検討する。

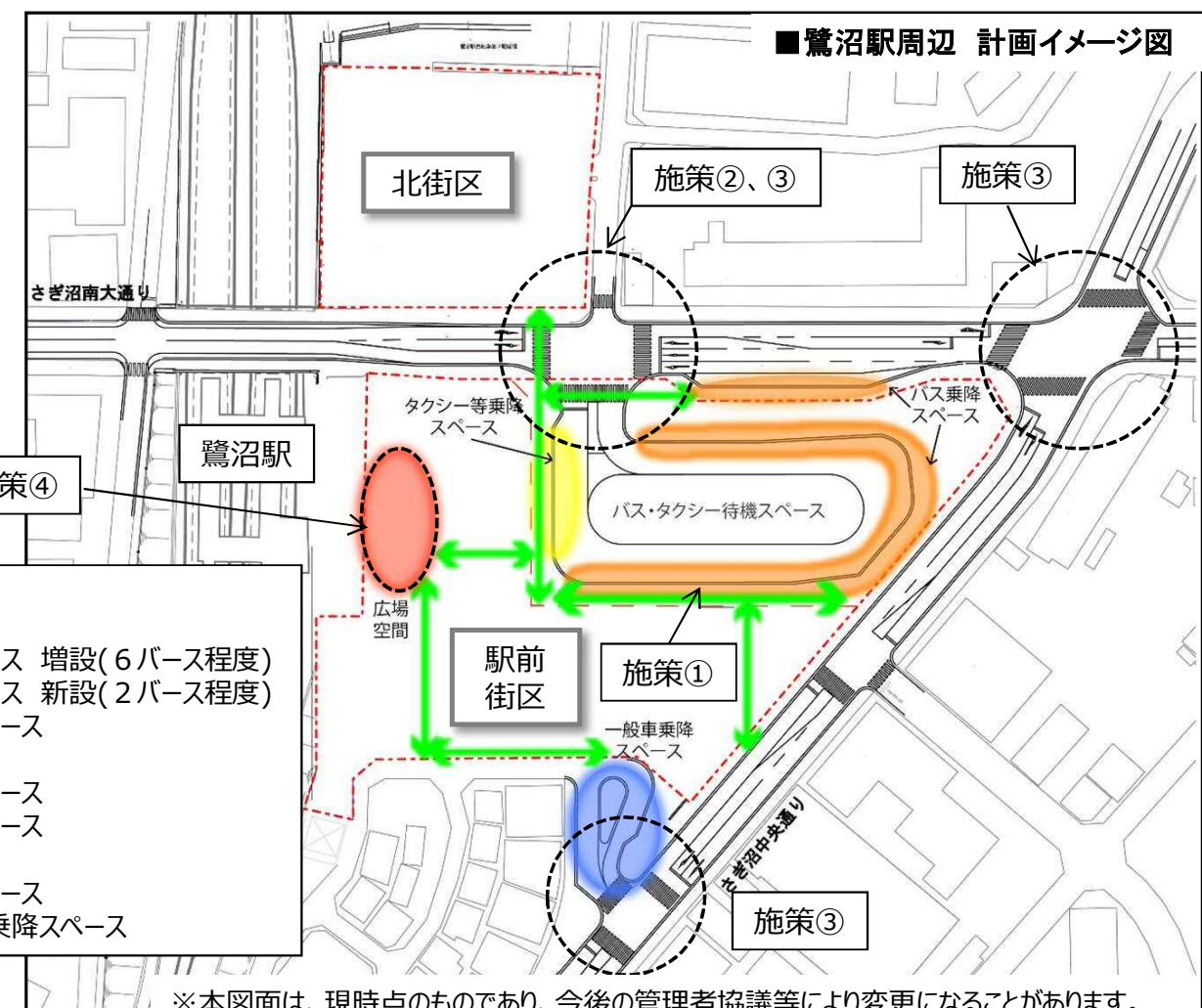
○施策② 交差点の集約化

- ・現行の交通広場とフレル鶯沼の間の道路を廃止し、同位置に交通広場の出入口を配置することで、交差点の集約化(3箇所⇒1箇所)を検討する。

○施策③ 周辺道路への右左折レーンの設置

○施策④ 交流機能の確保

- ・人々が憩い、集い、語らう場としての「交流機能」を有した広場の駅至近への配置を検討する。



4 鷺沼駅周辺再編整備に向けた公共交通による駅アクセスに関する取組 ②

(4-2) 路線バスネットワーク

広場再編整備前の先行的な取組

○「鷺沼駅～聖マリアンナ医科大学前」路線新設（平成30年5月公表済）

身近な地域交通における市民の利便性向上と市バスネットワークの充実を図るため、「鷺沼駅」と「聖マリアンナ医科大学病院」を結ぶバス路線新設の認可を申請（路線は、市バス・小田急バス・東急バスの3事業者による運行を予定）

■概要

- (1) 運行開始日
平成30年秋頃で調整中
- (2) 運行計画
日中時間帯での運行で
本数は調整中



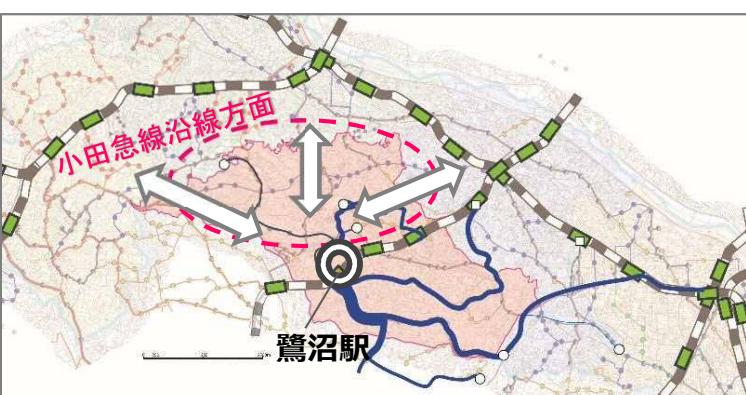
広場再編整備の機会を捉えた路線バスネットワークの充実に向けた検討

○交通広場の再整備の機会を捉え、小田急線沿線などの拠点駅へ接続するため、既存路線の再編や新規路線の設置等、路線バスネットワークの充実に向け、バス事業者と連携し、検討を進める。

① 運行路線の拡充検討

交通広場の拡充に併せて、運行時間帯の拡大
・「鷺沼駅～聖マリアンナ医科大学前」

路線バスネットワークの充実 イメージ図



② 路線バスネットワークの充実に資する路線の検討

バスバースの増加（乗車バース：2バース程度）
により、バス発着枠の増が可能となることから、地域
需要や地域特性を踏まえつつ、バス事業者と連携し、
駅前区全体の発展に資する路線について検討

(5) 検討の進め方

- ・「駅周辺交通環境」については、再開発準備組合や交通管理者などの関係者と協議・調整を行いながら検討を進める。
- ・「路線バスネットワーク」については、バス事業者などと協議・調整を行いながら検討を進める。

5 今後の検討内容・スケジュール

(1) 検討内容

(ア) 鷺沼駅前再開発に望まれる公共機能

再開発により駅前バスターミナルが広くなるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれること等を踏まえ、引き続き意見交換会（ワークショップ）による創造的議論やフォーラムによる幅広い参加者との意見交換などを通して、区役所・市民館・図書館の移転可能性も含め、鷺沼駅前に望まれる公共機能について検討する。

(イ) 公共交通による駅アクセス

公共機能の検討を踏まえ、鷺沼駅を中心とした様々な方面からの路線バスネットワークの充実を図るため、拡充されるバスターミナル等を活用し、既存路線の再編や新規路線の設置等について、バス事業者と連携しながら検討する（「4 鷺沼駅周辺再編整備に向けた公共交通による駅アクセスに関する取組」参照）。

(ウ) 現区役所等用地のあり方など*

意見交換会（ワークショップ）等を通じ、仮に「区役所等を移転する」とした場合の、現在の区役所等用地のあり方や、アクセスに関する影響等について検討する。

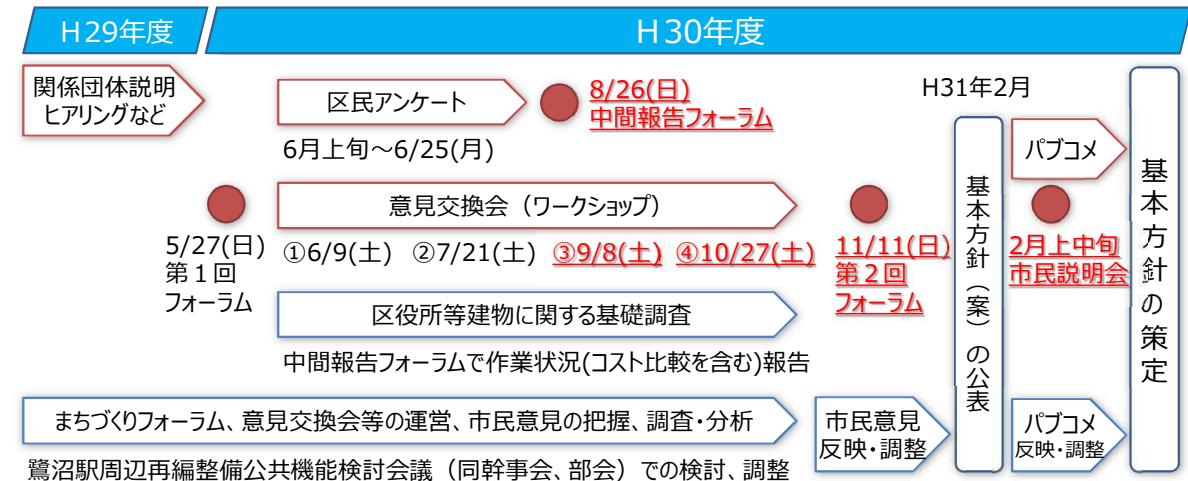
(エ) 現区役所等建物の継続利用と移転の比較*

区役所等の建物の現状確認、長寿命化整備の方針検討と課題の整理、現在の建物を継続利用した場合と移転した場合の必要概算経費の算出などについて、専門業者への委託により、外部専門家の知見を活用した基礎調査を実施する（「3 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能検討のための基礎調査」参照）。

*(ウ)、(エ)は、フォーラムや意見交換会での区民意見などを踏まえ、(ア)と並行して検討・調査を進めるが、今回の再開発に合わせて鷺沼駅前に区役所等の機能を導入しない場合は、資産マネジメントカルテに基づき、現在の建物を目標活用年数の60年以上活用していくための取組を推進することを基本とする。

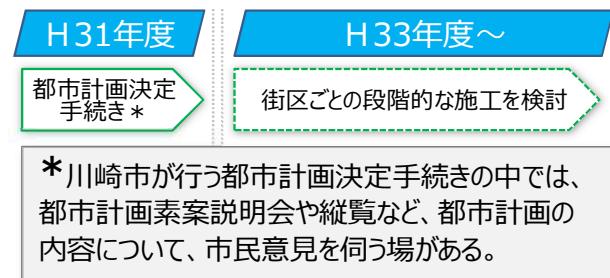
(2) 基本方針策定に向けた検討スケジュール

第1回フォーラムでの区民意見や、意見交換会への応募状況を踏まえて追加開催する中間報告フォーラム（平成30年8月26日（日））で、コスト面も含めた基礎調査の作業状況を報告するなど、途中段階でいただいた御意見も検討の進め方や論点などに反映しながら総合的に取組を推進し、平成31年2月に「（仮称）鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針（案）」を公表する。



(3) 準備組合が予定する再開発スケジュール

平成31年度の都市計画決定手続きを経て、平成33年度から街区ごとに段階的な施工が検討されている（今後の検討により変更になる可能性あり）。



宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクト

これまでにいただいた質問・意見に対する市の考え方（案）

平成 30 年 8 月 26 日

これまでに実施した「まちづくりフォーラム」や「意見交換会」などで、複数の方からいただいた御意見・御質問について、現時点での市としての考え方をお示します（第 2 回意見交換会の 4 テーマで整理）。

■ 鶯沼駅周辺のまちづくりと公共機能

Q 1. 鶯沼駅前には区役所分庁舎（一部機能のみ移転）を設置してはどうか。

- 市では、「区役所と支所・出張所等の機能再編実施方針改定版」に基づき、区役所を中心としたわかりやすい窓口サービス提供体制の構築に取り組んでいます。
- 少子高齢化や核家族化などにより市民生活が多様化する中で、行政サービスも専門化、複雑化し、それぞれの窓口や相談体制が連携して取組を推進しています。
- 将来的に人口減少への転換が確実に予測される中で、これから区役所には、単なる届出や証明書発行などの手続きの拠点から、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、福祉や介護、生活支援に関する相談など、市民生活に必要な取組を一体的に推進する地域の総合行政機関としての役割が、一層重要になってまいります。
- 区役所の一部機能の移転については、相互に関連性のある手続きや業務を切り分ける影響が大きく、市民ニーズに応じた行政サービスを着実に提供していくという観点から、今後の方向性として検討することは困難です。

Q 2. 鶯沼駅周辺のまちづくりと公共機能について、市としての考え方を聞かせてほしい。

- 鶯沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」の 1 つとして位置づけられており、「民間活力を活かした駅前広場の再整備等による、鶯沼駅周辺を中心とした商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしています。
- 今回の民間事業者による再開発は、この位置づけに即した取組として、交通結節機能としての駅周辺交通環境の改善など、宮前区全体の利便性向上に寄与する効果が期待されます。
- 宮前平に立地している区役所・市民館・図書館は、今すぐに建て替えを必要とする状況ではないものの、アクセスに課題があるということはこれまで指摘されています。本年 6 月に実施した区民意識アンケートにおいては、「宮前平にある公共施設はほとんど利用しない」と回答した方々のうち、その理由として「利用するには行きにくい場所にあるから」という項目を選択した方が 55.3% を占めました。（資料 1：「鶯沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討状況について」2 ページ「問 6」、「問 7」参照）。
- 今回は、こうした課題を解決するため、再開発によって交通利便性が高まり、都市としての機能が向上する鶯沼駅周辺に、公共機能を一体的に移転する可能性も含めて検討するチャンスであると捉えています。

Q 3. AIやICTを活用し、使いやすくコンパクトな公共機能を設置してほしい。

- ・ AIやICTの進展は非常に目覚ましく、業務の効率化をはじめ、市民サービス向上に役立つ可能性のある最新技術だと認識しています。
- ・ 本市では、「AIを活用した行政サービスによる課題解決及び市民サービスの向上」を目的として平成28年から2度にわたり実証実験を実施しました。
- ・ 区役所を含む本市の行政サービスにおける新たな技術の活用については、引き続き、技術動向などを踏まえて検討していきます。

■ 交通・アクセス

Q 4. 鷺沼駅前にアクセスが集中して、混雑してしまうのではないか。

- ・ 鷺沼駅周辺では、現在、交通広場の機能不足や付加車線(右左折レーン)が整備されていないことなどによる交通処理能力の低下などの課題があることから、民間活力を活かした市街地再開発事業と併せた交通広場の再整備によるバスバース数の増加などの交通広場の拡充や周辺道路への右左折レーンの設置など通過交通等に配慮した交通流の改善に向けた検討を行っていきます。
- ・ また、併せて、鷺沼駅周辺地区を中心とした路線バスネットワークの充実を図ることで、公共交通機関の利用促進を図り、交通混雑の緩和に努めていきます。

Q 5. コミュニティバスはなぜできないのか。どうすれば走らせられるか。

- ・ 川崎市では、「身近な地域の交通」の基本は、路線バスとして位置づけています。地域の交通課題を検討する際、まずは路線バスが活用できないかを検討することとなります。
- ・ コミュニティ交通は、路線バスの活用が難しい場合、地域のみなさんが主体となって導入する交通手段になります。
- ・ 川崎市内でも、地域住民の主体的な取組により、麻生区高石地区の「山ゆり号」や多摩区長尾台地区の「あじさい号」などコミュニティ交通の本格運行が行われています。
- ・ 川崎市として、地域の主体的な運営によるコミュニティ交通の導入に向けた取組に対して、住民が活動しやすい環境づくり、安全運行のための情報提供、技術的支援の提供、交通事業者との調整など、取組等の進捗状況に応じた支援を行い、持続可能な交通環境の整備を推進しています。

■ 宮前区全体のまちづくり

Q 6. 今の場所に区役所等を整備した理由を知りたい。

- 昭和 57(1982)年に高津区から宮前区を分区する際、区役所等の庁舎については、土地の有効利用や機能の向上といった観点から、総合庁舎として区役所と市民館、図書館等は同一地に設置することが計画されました。
- 総合庁舎を建設するには、1万平方メートル程度の土地が必要とされ、当時の幹線道路や地下鉄計画をはじめとした交通体系の整備構想も合わせて考慮した結果、現在地の土地を取得した経過があります。

Q 7. 鶯沼の未来の検討と並行して跡地のあり方も検討する必要があるのではないか。

- 仮に「区役所等を移転する」とした場合の課題にはなりますが、第1回まちづくりフォーラム等でも同様のご質問やご意見をいただいておりますので、現在の区役所等用地(跡地)のあり方についてでも、鶯沼駅前再開発に望まれる公共機能の検討と並行して、意見交換してまいります。

Q 8. 区役所にどういう用事で来る人が一番多いのか

- 区役所の窓口ごとの来庁者数を集計したデータではなく、手続き等の処理件数からの推定になりますが、区役所には、転入・転出等の手続きや証明書の発行件数が最も多くなっており、次いで国民健康保険・国民年金等に関する手続きが多くなっています。
- また、児童、障害者、高齢者、生活保護等の福祉に関する手続きや相談も多く、これらの手続きの中には、年に複数回の来庁が必要な方もいらっしゃいます。
- なお、本年 6 月に実施した区民意識アンケートにおいて、宮前平にある公共施設(区役所・市民館・図書館)に行く目的についてお聞きしたところ、上位 3 項目は以下のとおりでした。

(資料 1:「鶯沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討状況について」2 ページ「問 6」参照)

①住民票や印鑑登録証明書などの証明書を発行するとき	73.4%
②転入・転出や戸籍・印鑑登録などの手続きをするとき	63.0%
③各種イベントやコンサート、発表会などに行くとき	30.5%

Q 9. 宮前区の分区は将来もないのか。

- 川崎市では、昭和 57(1982)年に高津区から宮前区が、多摩区から麻生区がそれぞれ分区し、7 区制となりました。これは、昭和 47(1972)年の政令指定都市移行時から、高津区・多摩区の都市化の進展に伴う将来的な人口増加が見込まれたことによるもので、当時の推計では、両区とも 35 万人を超えることが想定されていました。
- 平成 29(2017)年に実施した本市の将来人口推計では、宮前区の人口は平成 47(2035)年の 23.8 万人をピークとして減少に転じる見込みです。
- 人口規模を1つの目安として考慮すると、宮前区の将来的な分区は想定できません。

■ 検討の進め方

Q10. まずは、区役所等を移転する場合としない場合の必要経費の比較が必要ではないか。

- ・ 現在、区役所等の建物の劣化状況の確認、長寿命化整備の方針検討と課題の整理、現在の建物を継続利用した場合と移転した場合の必要概算経費の算出などについて、専門業者への委託により基礎調査を実施しています。
- ・ 「中間報告まちづくりフォーラム(8月26日開催)」で、コスト面も含めた基礎調査の作業状況を報告します。

Q11. 区役所機能移転と再開発の検討は分けて考えてはどうか。

- ・ 今回の取組は、民間事業者による鷺沼駅前再開発によりバスターミナルが広くなるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か、ということを検討するものです。
- ・ 再開発がなければ、現時点で区役所・市民館・図書館等の移転について検討することはありません。

Q12. ワークショップに女性の方が落選している。女性の参加者が少ないのでないか。

- ・ 応募者全109名のうち女性は30名(27.5%)でした。
- ・ ここから、地域や年代に加えて男女バランス(当初比よりも女性の割合を増やすこと)を考慮して抽選を行い、女性の参加者は18名(36%)となりました(辞退者が1名いらっしゃいましたので、女性の落選者は11名でした。)。

Q13. いつ、だれが、どのような形で検討を進め、決定していくのか。

(意見交換会での意見がどのように反映されるのか)

- ・ 意見交換会(ワークショップ)では、50名の参加者に4回連続した内容で理解や意見を深めていただき、創造的な議論ができるように運営してまいります。
- ・ まちづくりフォーラムでは、意見交換会に参加できなかった方々を含め、幅広い参加者の方々に取組内容をご説明するとともに、ご意見を伺ってまいります。
- ・ さらに、無作為抽出の区民アンケートによる統計的な意識調査や、区役所の日常業務等で関わりのある団体等を対象とした説明・ヒアリングなど、多角的な意見聴取を実施しながら検討を進めていきます。
- ・ また、行政内部では、副市長を座長とする「鷺沼駅周辺再編整備公共機能検討会議」及びその下部組織である幹事会や部会を設置しています。現在は、まちづくりフォーラムや意見交換会の運営に関するなどについて検討・調整しています。
- ・ 区民の皆様からいただいた御意見は、これまで検討の進め方や論点などに反映しています。
- ・ 今後につきましても、意見交換会をはじめとした様々な場面でいただいた御意見を、個々の結果だけではなく、総合的に整理、検討し、平成31年2月に公表を予定している「基本方針(案)」に

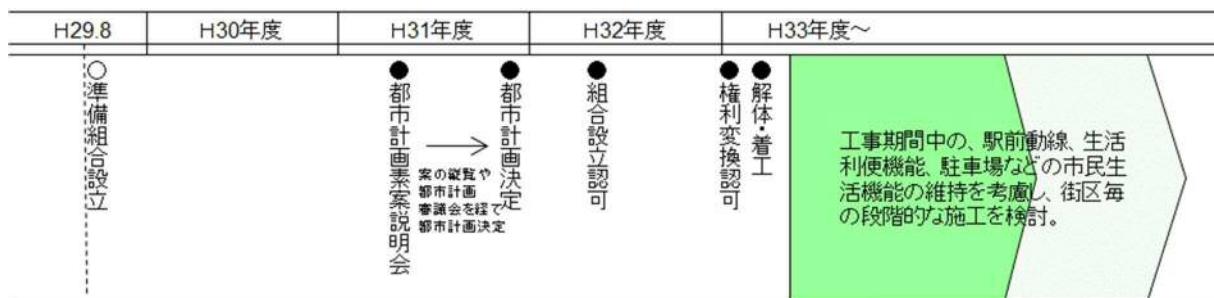
反映していきます。

- なお、再開発準備組合では、平成31年度の都市計画決定手続きを経て、平成33年度から街区ごとに段階的な施工が検討されています。川崎市が行う都市計画決定手続きの中では、都市計画素案説明会や縦覧など、都市計画の内容について、市民意見を伺う場があります。

■宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクト スケジュール



■鷺沼駅前地区再開発事業 スケジュール



※ 現時点の想定スケジュールであり、今後変更する可能性があります。

Q14. このプロジェクトの市の主管はどこの部局になるのか。

- 関係4局区で連携しながら取組を進めています。
 - 市民文化局…意見交換会やフォーラム、区役所機能に関することなど
 - 宮前区役所…区民アンケート、関係団体等説明・ヒアリング、区役所機能に関することなど
 - 教育委員会事務局…市民館・図書館機能に関することなど
 - まちづくり局…再開発事業全般、交通環境に関することなど

Q15. 区役所等を移転する理由を説明してほしい。

- 今回の取組において、今すぐ区役所・市民館・図書館を移転しなければならない、という理由はありません。
- 現在の区役所・市民館・図書館は、供用開始から30年以上が経過し、施設や設備の老朽化

が進んでいるものの、今すぐに建替えを必要とする状況ではありませんし、将来的に施設更新を行う場合、様々な課題はあるものの、現地での建て替えが不可能なものでもありません。

- ・一方、今回の民間事業者による再開発は、中長期的な宮前区のまちづくりという観点から、とても大きな事業です。
- ・鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」の1つとして位置づけられており、「鷺沼駅周辺を中心に(中略)多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」してきました。
- ・今回の民間事業者による再開発は、この位置付けに即した取組であり、今回のプロジェクトは、これを契機として、鷺沼駅前にどのような公共機能が望まれるかということについて検討するものです。

Q16. 子どもの意見を聞いてほしい。

- ・宮前区のミライを考えるプロジェクトとして、子どもたちの率直な意見を聞く機会の設定について、現在検討しています。

Q17. 外部委員会を設置して検討してはどうか。外部の視点による検討が必要ではないか。

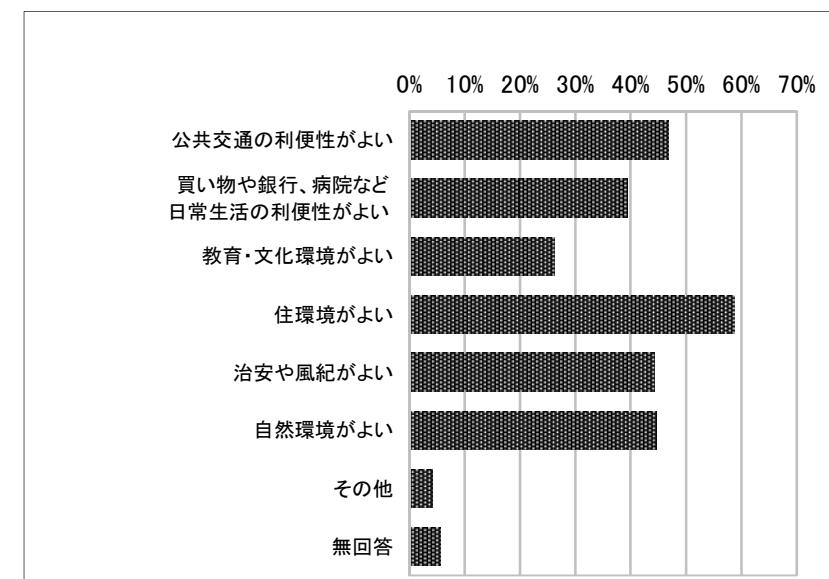
- ・今回の取組を始めるにあたって、学識経験者や市民代表からなる外部委員会の設置についても検討いたしました。
- ・今回の取組は区役所、市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討するため、区民の生活実感としてのニーズや課題の把握を重視し、限られたメンバーで構成される外部委員会ではなく、より多くの区民の参加機会を確保するため、意見交換会(ワークショップ)やフォーラムを取組の中心としました。
- ・意見交換会(ワークショップ)やフォーラム自体が、外部の視点による検討そのものであると位置づけています。
- ・「基本方針(案)」については、いただいた御意見を踏まえ、行政内部で取りまとめてまいりますが、その内容についても、これまでの過程で御参加いただいた皆様にチェックしていただくことが重要ですので、パブリックコメント手続と並行して市民説明会を開催し、皆様から御意見を伺う場を設定してまいります。

鷺沼駅周辺再編整備に伴う宮前区の今後のまちづくりに向けた区民意識アンケート 実施結果(速報)

資料3

問1:あなたが宮前区の長所・魅力と思っているものは何ですか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

回答数		%	
全体		1057	100.0
1	公共交通の利便性がよい	495	46.8
2	買い物や銀行、病院など日常生活の利便性がよい	417	39.5
3	教育・文化環境がよい	278	26.3
4	住環境がよい	620	58.7
5	治安や風紀がよい	469	44.4
6	自然環境がよい	471	44.6
7	その他	45	4.3
	無回答	60	5.7



[アンケート実施概要]

調査対象: 宮前区在住の18歳以上の男女個人2,000人(外国人を含む)

有効回収数: 1,057件 (52.85%)

標本抽出方法: 住民基本台帳に基づく無作為抽出

調査期間: 平成30年6月7日(木)～6月25日(月)

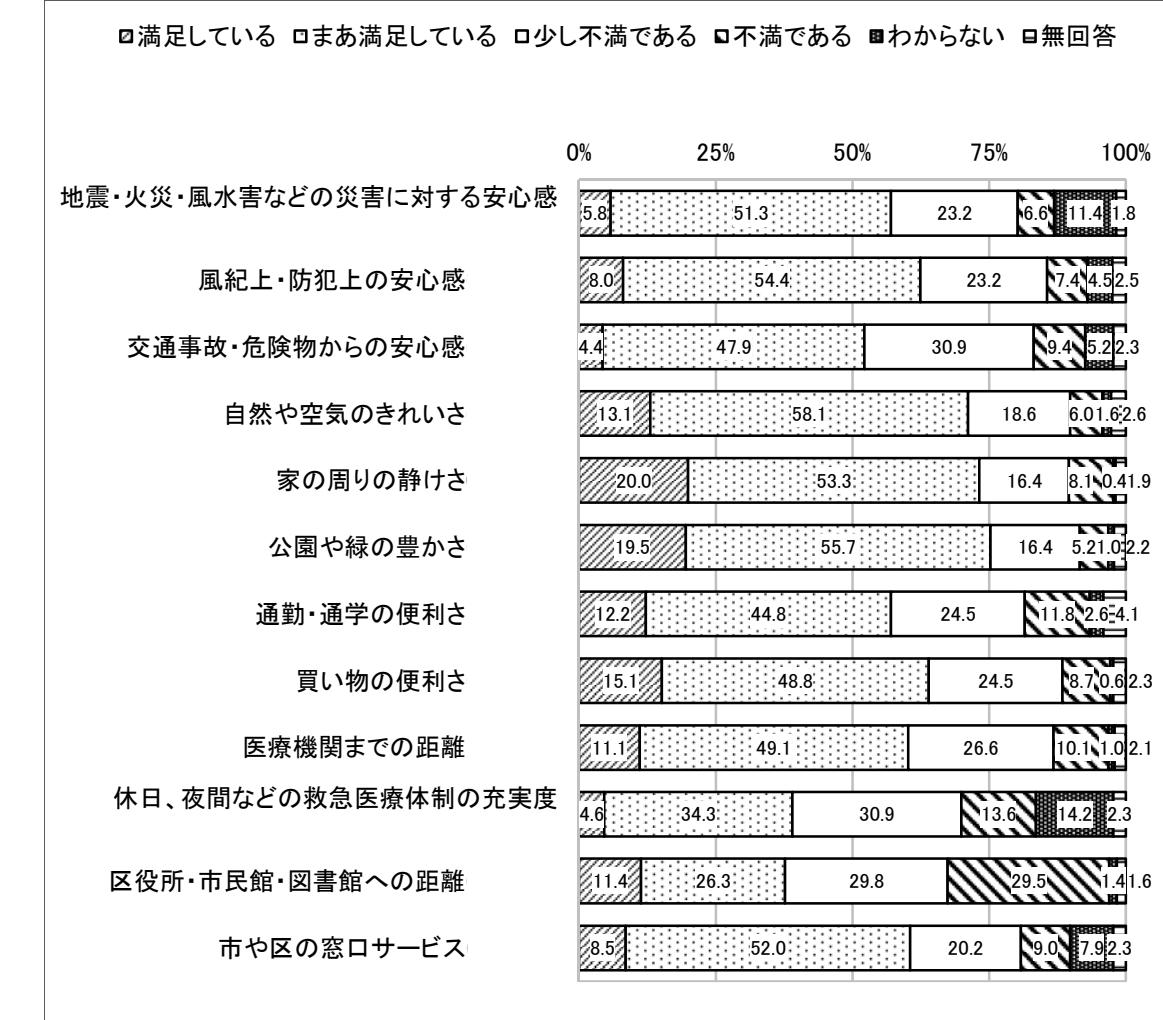
調査方法: 郵送法(郵送配布、郵送回収) インターネット回答可

※アンケートの主な設問項目

- ①宮前区について日頃感じていること
- ②現在の区役所・市民館・図書館の利用状況等
- ③鷺沼前での民間事業者による再開発事業について
- ④区民意見を踏まえた今後の鷺沼駅周辺のまちづくり
- ⑤回答者の属性

問2: 宮前区の生活環境について伺います。あなたは、次に挙げる項目について、どの程度満足されていますか。それぞれ1つずつ選んでください。

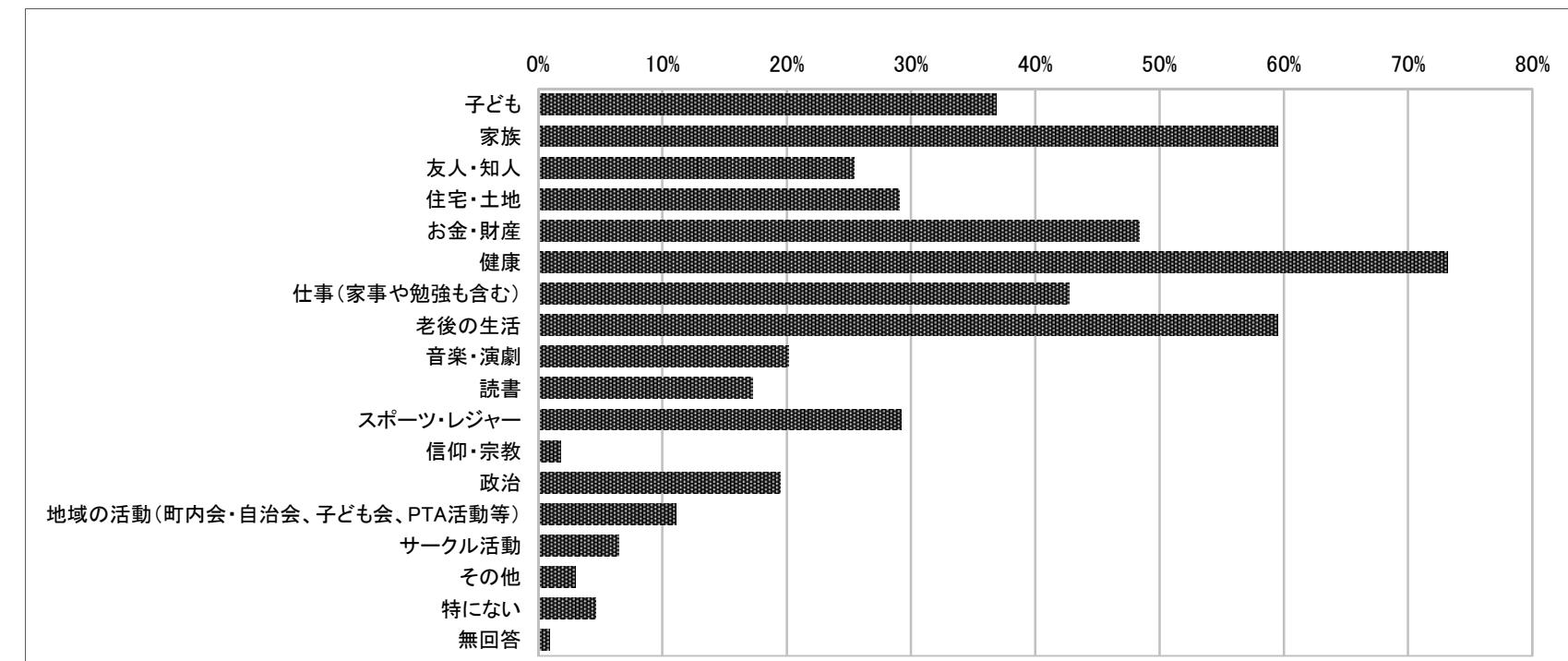
		回答数	全般	1	2	3	4	5	
				満足している	まあ満足している	少し不満である	不満である	わからない	無回答
問2.1	地震・火災・風水害などの災害に対する安心感	回答数	1057	61	542	245	70	120	19
		%	100.0	5.8	51.3	23.2	6.6	11.4	1.8
問2.2	風紀上・防犯上の安心感	回答数	1057	85	575	245	78	48	26
		%	100.0	8.0	54.4	23.2	7.4	4.5	2.5
問2.3	交通事故・危険物からの安心感	回答数	1057	46	506	327	99	55	24
		%	100.0	4.4	47.9	30.9	9.4	5.2	2.3
問2.4	自然や空気のきれいさ	回答数	1057	138	614	197	63	17	28
		%	100.0	13.1	58.1	18.6	6.0	1.6	2.6
問2.5	家の周りの静けさ	回答数	1057	211	563	173	86	4	20
		%	100.0	20.0	53.3	16.4	8.1	0.4	1.9
問2.6	公園や緑の豊かさ	回答数	1057	206	589	173	55	11	23
		%	100.0	19.5	55.7	16.4	5.2	1.0	2.2
問2.7	通勤・通学の便利さ	回答数	1057	129	474	259	125	27	43
		%	100.0	12.2	44.8	24.5	11.8	2.6	4.1
問2.8	買い物の便利さ	回答数	1057	160	516	259	92	6	24
		%	100.0	15.1	48.8	24.5	8.7	0.6	2.3
問2.9	医療機関までの距離	回答数	1057	117	519	281	107	11	22
		%	100.0	11.1	49.1	26.6	10.1	1.0	2.1
問2.10	休日、夜間などの救急医療体制の充実度	回答数	1057	49	363	327	144	150	24
		%	100.0	4.6	34.3	30.9	13.6	14.2	2.3
問2.11	区役所・市民館・図書館への距離	回答数	1057	120	278	315	312	15	17
		%	100.0	11.4	26.3	29.8	29.5	1.4	1.6
問2.12	市や区の窓口サービス	回答数	1057	90	550	214	95	84	24
		%	100.0	8.5	52.0	20.2	9.0	7.9	2.3



鷺沼駅周辺再編整備に伴う宮前区の今後のまちづくりに向けた区民意識アンケート 実施結果(速報)

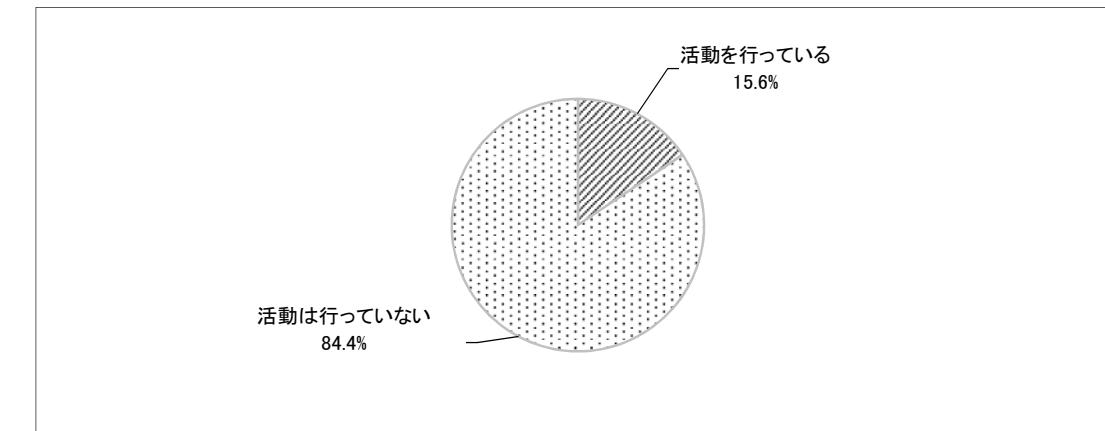
問3:あなたが、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

	回答数	%
全体	1057	100.0
1 子ども	390	36.9
2 家族	629	59.5
3 友人・知人	269	25.4
4 住宅・土地	307	29.0
5 お金・財産	511	48.3
6 健康	773	73.1
7 仕事(家事や勉強も含む)	452	42.8
8 老後の生活	629	59.5
9 音楽・演劇	213	20.2
10 読書	182	17.2
11 スポーツ・レジャー	309	29.2
12 信仰・宗教	19	1.8
13 政治	206	19.5
14 地域の活動(町内会・自治会、子ども会、PTA活動等)	117	11.1
15 サークル活動	69	6.5
16 その他	32	3.0
17 特にない	49	4.6
無回答	10	0.9



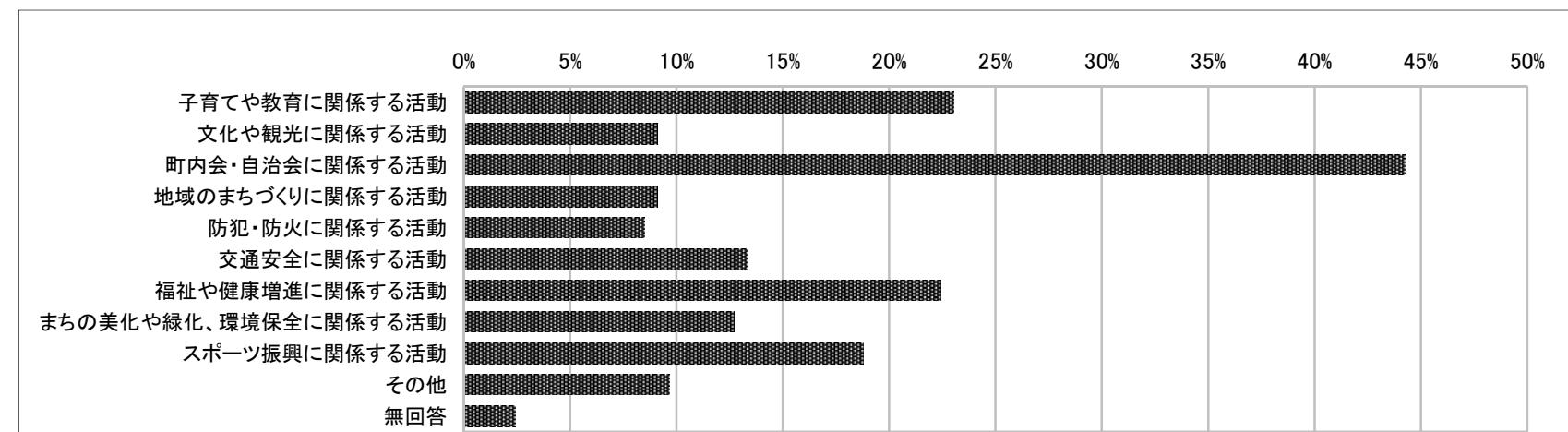
問4:あなたは、地域のボランティア活動、サークル活動などを行っていますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

	回答数	%
全体	1057	100.0
1 活動を行っている	165	15.6
2 活動は行っていない	892	84.4



問5:【問4で「活動を行っている」と回答の方】あなたが地域で活動している団体(グループや個人の活動も含む)の活動分野について、あてはまるものすべてに○を付けてください。

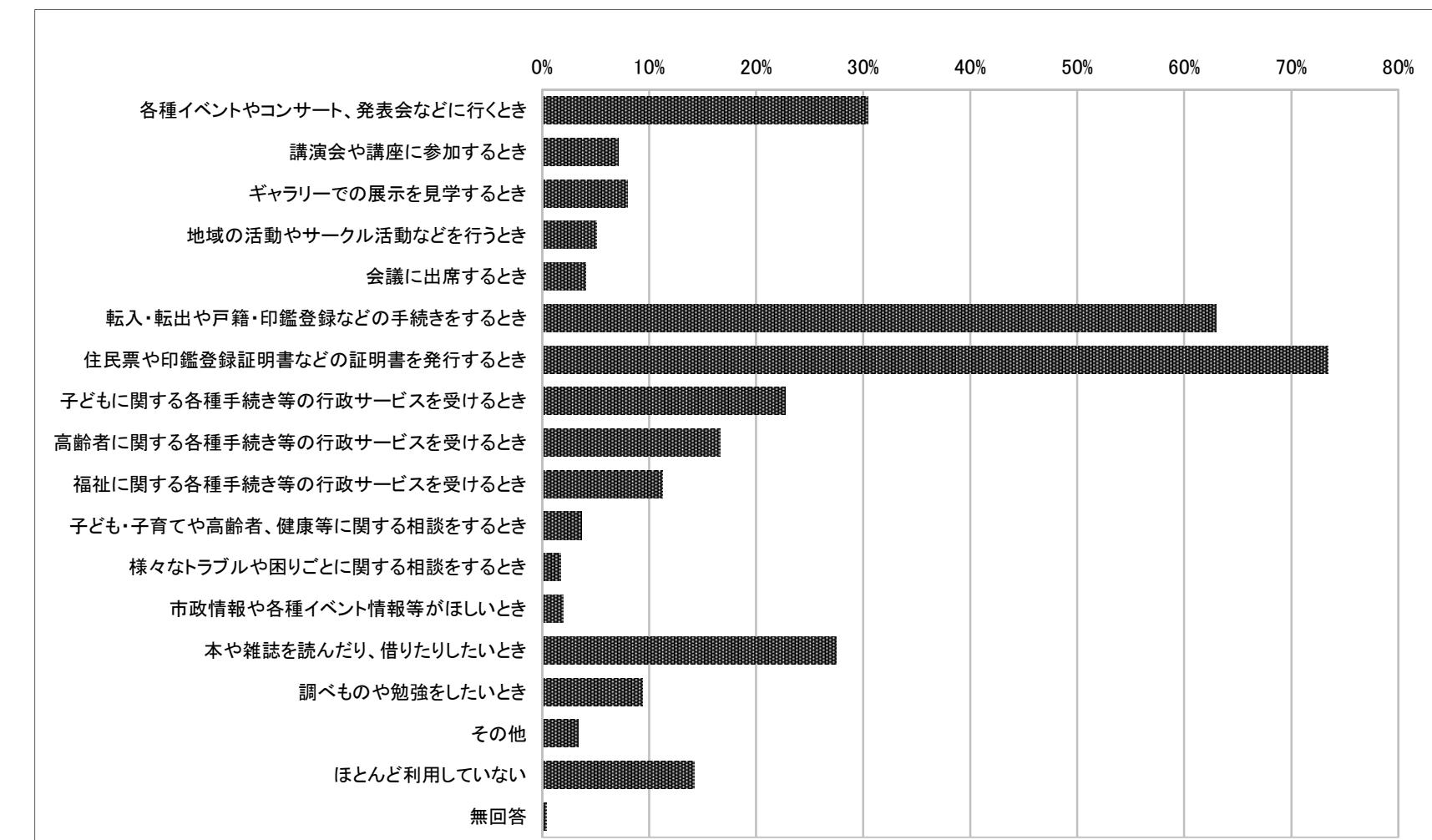
	回答数	%
全体	165	100.0
1 子育てや教育に関する活動	38	23.0
2 文化や観光に関する活動	15	9.1
3 町内会・自治会に関する活動	73	44.2
4 地域のまちづくりに関する活動	15	9.1
5 防犯・防火に関する活動	14	8.5
6 交通安全に関する活動	22	13.3
7 福祉や健康増進に関する活動	37	22.4
8 まちの美化や緑化、環境保全に関する活動	21	12.7
9 スポーツ振興に関する活動	31	18.8
10 その他	16	9.7
無回答	4	2.4



鷺沼駅周辺再編整備に伴う宮前区の今後のまちづくりに向けた区民意識アンケート 実施結果(速報)

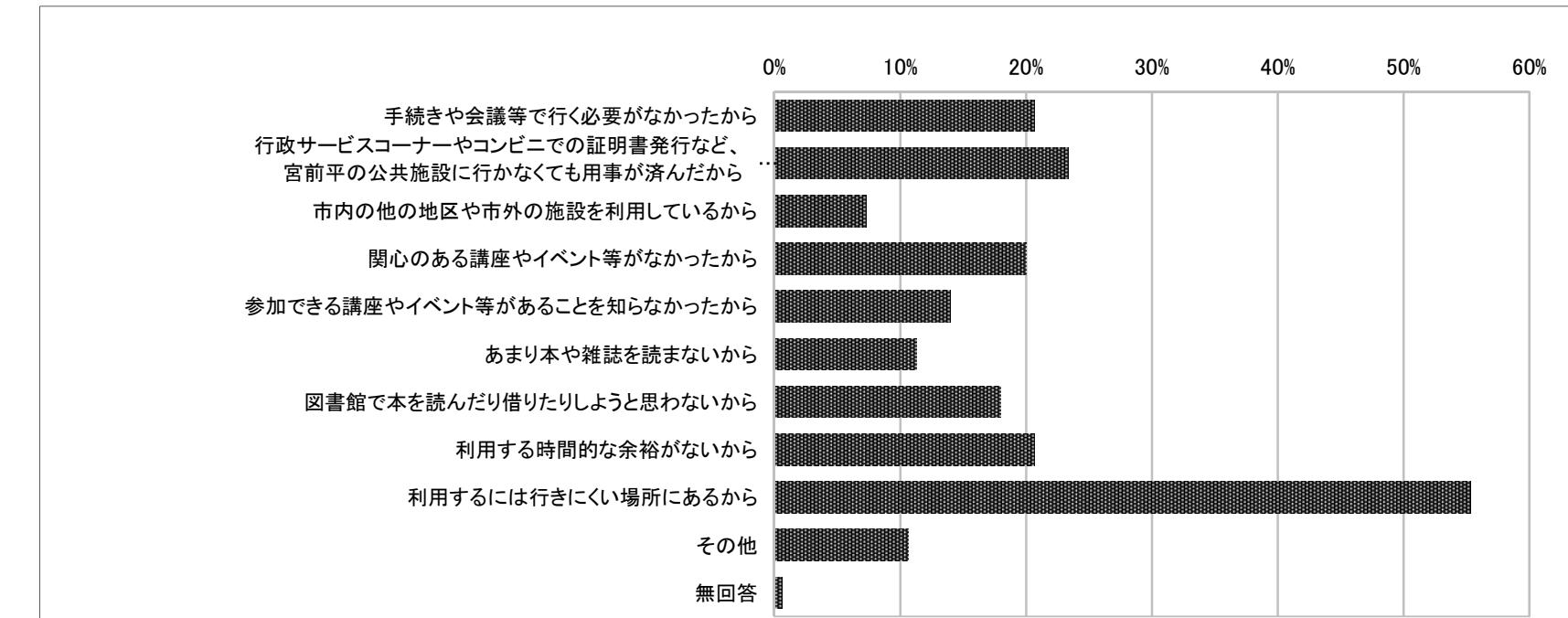
問6:あなたは、これまで主にどんなときに宮前平にある公共施設(宮前区役所・市民館・図書館)に行きましたか。あてはまるものを3つまで○を付けてください。

回答数	%
全体	1057
1 各種イベントやコンサート、発表会などに行くとき	30.5
2 講演会や講座に参加するとき	7.1
3 ギャラリーでの展示を見学するとき	7.9
4 地域の活動やサークル活動などを行うとき	5.1
5 会議に出席するとき	4.1
6 転入・転出や戸籍・印鑑登録などの手続きをするとき	63.0
7 住民票や印鑑登録証明書などの証明書を発行するとき	73.4
8 子どもに関する各種手続き等の行政サービスを受けるとき	22.7
9 高齢者に関する各種手続き等の行政サービスを受けるとき	16.7
10 福祉に関する各種手続き等の行政サービスを受けるとき	11.3
11 子ども・子育てや高齢者、健康等に関する相談をするとき	3.7
12 様々なトラブルや困りごとにに関する相談をするとき	1.7
13 市政情報や各種イベント情報等がほしいとき	2.0
14 本や雑誌を読んだり、借りたりしたいとき	27.4
15 調べものや勉強をしたいとき	9.4
16 その他	3.4
17 ほとんど利用していない	14.2
無回答	0.4



問7:【問6で「ほとんど利用していない」と回答の方】宮前平にある公共施設(宮前区役所・市民館・図書館)をほとんど利用しなかった理由は何ですか。主な理由としてあてはまるものを3つまで○を付けてください。

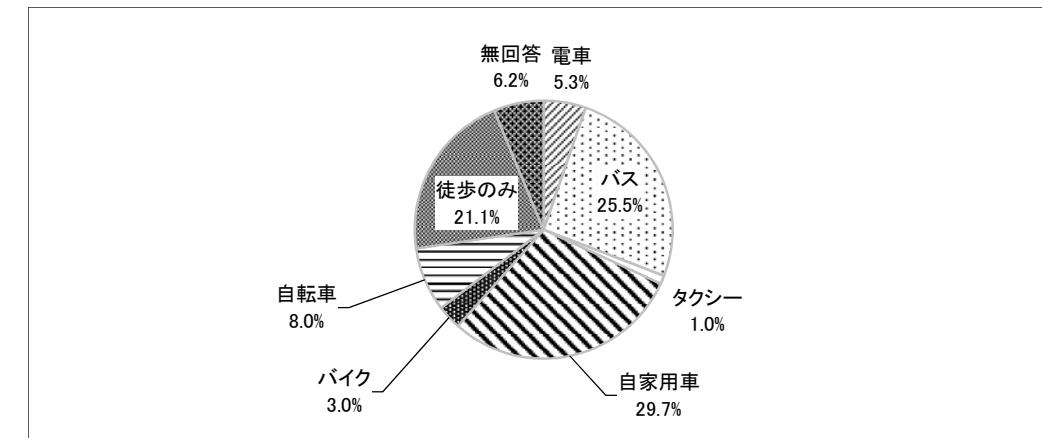
回答数	%
全体	150
1 手続きや会議等で行く必要がなかったから	20.7
2 行政サービスコーナーやコンビニでの証明書発行など、宮前平の公共施設に行かなくても用事が済んだから	23.3
3 市内の他の地区や市外の施設を利用しているから	7.3
4 関心のある講座やイベント等がなかったから	20.0
5 参加できる講座やイベント等があることを知らなかつたから	14.0
6 あまり本や雑誌を読まないから	11.3
7 図書館で本を読んだり借りたりしようと思わないから	18.0
8 利用する時間的な余裕がないから	20.7
9 利用するには行きにくい場所にあるから	55.3
10 その他	10.7
無回答	0.7



鷺沼駅周辺再編整備に伴う宮前区の今後のまちづくりに向けた区民意識アンケート 実施結果(速報)

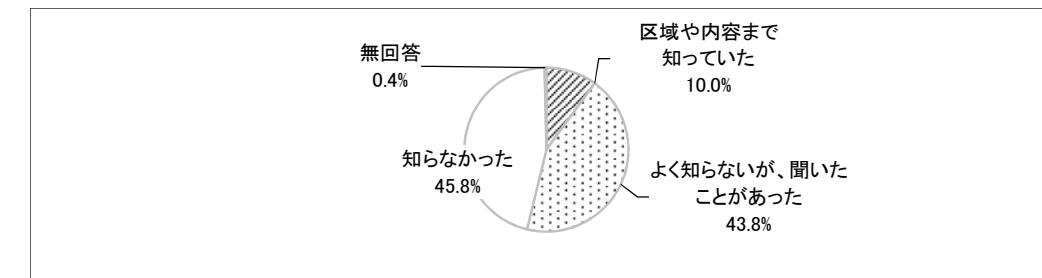
問8:あなたが、宮前平にある公共施設(宮前区役所・市民館・図書館)に行くときの主な交通手段は何ですか。最もあてはまるもの1つに○を付けてください。

	回答数	%
全体	1057	100.0
1 電車	56	5.3
2 バス	270	25.5
3 タクシー	11	1.0
4 自家用車	314	29.7
5 バイク	32	3.0
6 自転車	85	8.0
7 徒歩のみ	223	21.1
無回答	66	6.2



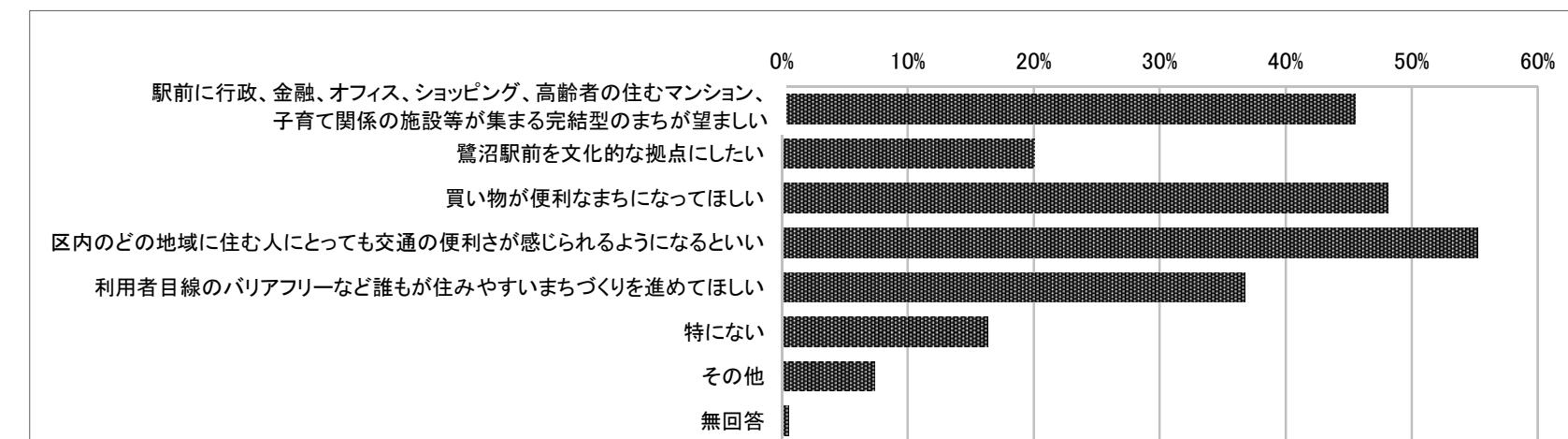
問9:あなたは、鷺沼駅前で民間事業者による再開発計画が検討されていることを知っていましたか。最もあてはまるもの1つに○を付けてください。

	回答数	%
全体	1057	100.0
1 区域や内容まで知っていた	106	10.0
2 よく知らないが、聞いたことがあった	463	43.8
3 知らなかった	484	45.8
無回答	4	0.4



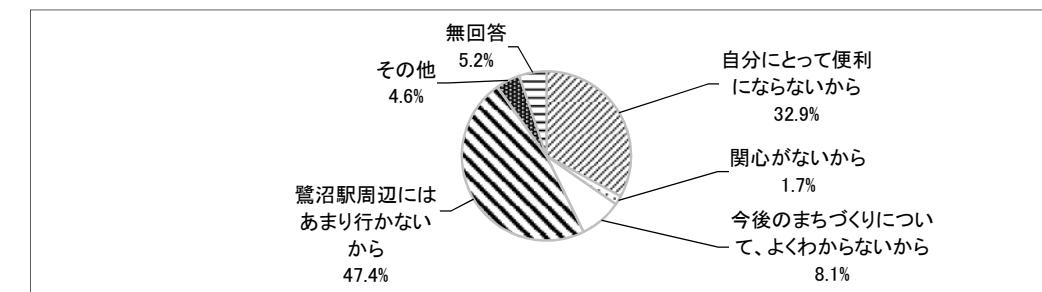
問10:鷺沼駅前の再開発への期待について、これまでに次のような意見が寄せられていますが、あなたはどう思いますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

	回答数	%
全体	1057	100.0
1 駅前に行政、金融、オフィス、ショッピング、高齢者の住むマンション、子育て関係の施設等が集まる完結型のまちが望ましい	481	45.5
2 鶯沼駅前を文化的な拠点にしたい	212	20.1
3 買い物が便利なまちになってほしい	509	48.2
4 区内のどの地域に住む人にとっても交通の便利さが感じられるようになるといい	584	55.3
5 利用者目線のバリアフリーなど誰もが住みやすいまちづくりを進めてほしい	389	36.8
6 特にない	173	16.4
7 その他	78	7.4
無回答	6	0.6



問11:【問10で「特にない」と回答の方】鷺沼駅前の再開発への期待について、「特にない」と回答した理由は何ですか。最もあてはまるもの1つに○を付けてください。

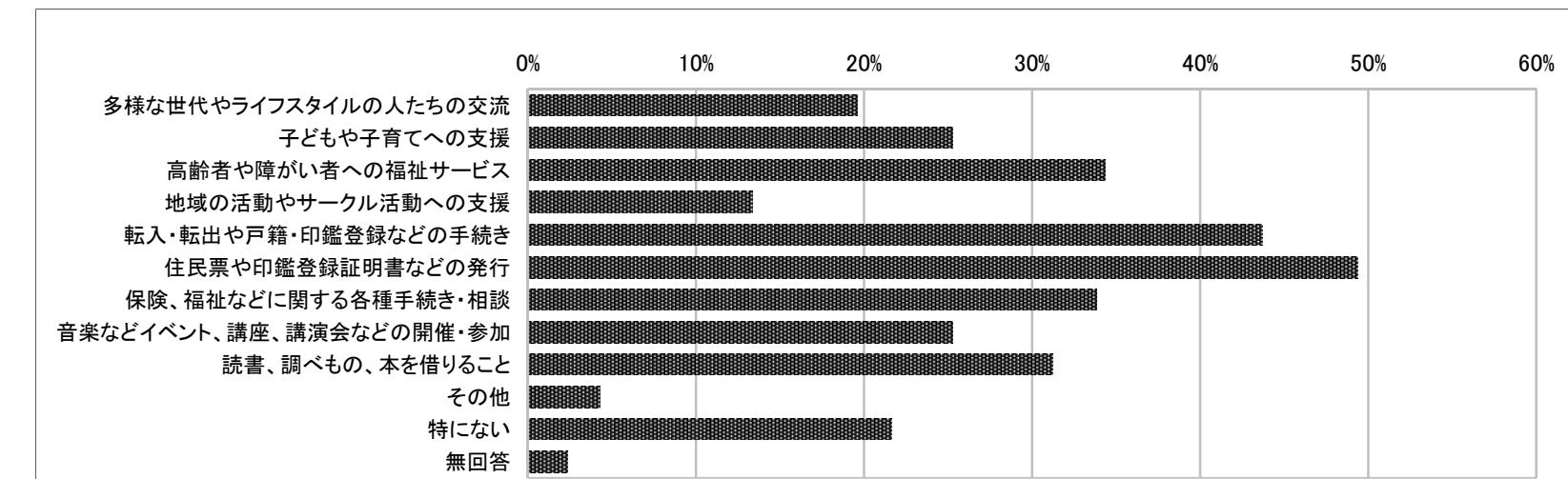
	回答数	%
全体	173	100.0
1 自分にとって便利にならないから	57	32.9
2 関心がないから	3	1.7
3 今後のまちづくりについて、よくわからないから	14	8.1
4 鶯沼駅周辺にはあまり行かないから	82	47.4
5 その他	8	4.6
無回答	9	5.2



鷺沼駅周辺再編整備に伴う宮前区の今後のまちづくりに向けた区民意識アンケート 実施結果(速報)

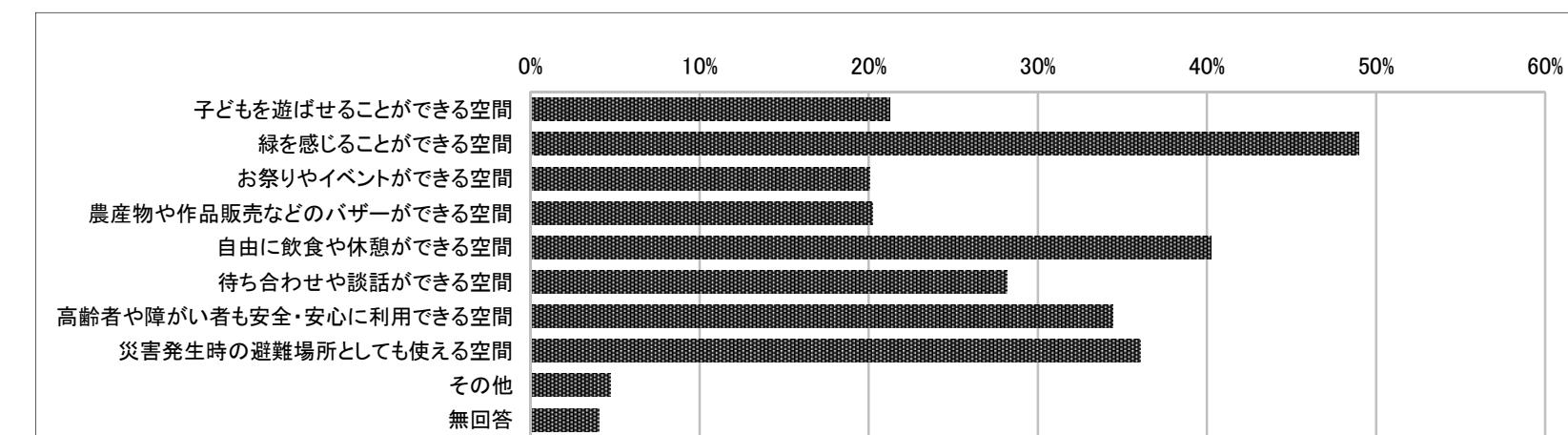
問12: 鷺沼駅前にあってほしい市民サービスや公共的な機能について、あなたがほしいと思うサービスや機能のすべてに○をつけてください。

	回答数	%
全体	1057	100.0
1 多様な世代やライフスタイルの人たちの交流	207	19.6
2 子どもや子育てへの支援	267	25.3
3 高齢者や障がい者への福祉サービス	363	34.3
4 地域の活動やサークル活動への支援	141	13.3
5 転入・転出や戸籍・印鑑登録などの手続き	462	43.7
6 住民票や印鑑登録証明書などの発行	522	49.4
7 保険、福祉などに関する各種手続き・相談	358	33.9
8 音楽などイベント、講座、講演会などの開催・参加	267	25.3
9 読書、調べもの、本を借りること	330	31.2
10 その他	45	4.3
11 特にない	229	21.7
無回答	25	2.4



問13: 鷺沼駅周辺にあってほしい空間についても、これまでにご意見をいただいています。あなたがほしいと思うものを3つまで○をつけてください。

	回答数	%
全体	1057	100.0
1 子どもを遊ばせることができる空間	225	21.3
2 緑を感じることができる空間	518	49.0
3 お祭りやイベントができる空間	212	20.1
4 農産物や作品販売などのバザーができる空間	214	20.2
5 自由に飲食や休憩ができる空間	425	40.2
6 待ち合わせや談話ができる空間	298	28.2
7 高齢者や障がい者も安全・安心に利用できる空間	364	34.4
8 災害発生時の避難場所としても使える空間	381	36.0
9 その他	50	4.7
無回答	43	4.1



問14: 今後、鷺沼駅周辺のまちづくりを進めていくうえで考慮してほしいこととして、これまでに、主に次のような意見が寄せられていますが、あなたはどう思いますか。あてはまるものを3つまで○をつけてください。

	回答数	%
全体	1057	100.0
1 区内各所から鷺沼駅に行きやすくすること	482	45.6
2 鷺沼駅周辺の駐車・駐輪スペースの整備など、交通環境に配慮すること	636	60.2
3 仮に区役所・市民館・図書館を移転するなら、現在の区役所・市民館・図書館用地の活用方法を検討すること	371	35.1
4 向丘出張所の機能について検討すること	99	9.4
5 市としての方針案を決める前に、市民の意見を聞く機会を十分設けること	296	28.0
6 区役所・市民館・図書館を移転する場合としない場合の費用対効果を検討すること	264	25.0
7 将来の人口や生活環境、情報通信技術等の状況変化を見据えて検討すること	343	32.5
8 その他	37	3.5
無回答	38	3.6

